

製品名: Hck ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11929**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	HCK
別名	HCK; Tyrosine-protein kinase HCK; Hematopoietic cell kinase; Hemopoietic cell kinase; p59-HCK/p60-HCK; p59Hck; p61Hck
遺伝子 ID	3055.0
SwissProt ID	P08631
免疫原	抗血清はヒト HCK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

背景

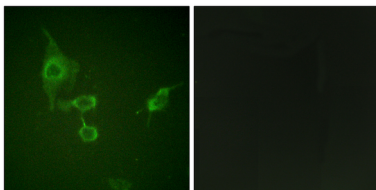
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、チロシンキナーゼの Src ファミリーのメンバーです。このタンパク質は主に造血に関

与し、特に骨髄系および B リンパ系細胞において顕著です。Fc 受容体と呼吸バーストの活性化を結びつける役割を担っていると考えられます。さらに、好中球の遊走および好中球の脱顆粒にも関与している可能性があります。選択的スプライシングと、非 AUG (CUG) コドンを含む代替翻訳開始コドンの使用により、細胞内分布の異なる複数のアイソフォームが生成されます。[RefSeq 提供、2010年2月],触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。 ,ドメイン: SH3 ドメインは HIV-1 Nef への結合を媒介します。 ,機能: Fc 受容体と呼吸バーストの活性化を結びつけるシグナル伝達経路の一部として機能する可能性があります。好中球の遊走にも寄与し、好中球の脱顆粒過程を制御する可能性もある。 ,PTM: アイソフォーム p59-HCK は、3 番目の位置に N-ミリスチルグリシンを含む (類似性による)。アイソフォーム p59-HCK は、3 番目の位置に S-パルミトイルシステインを含む。 ,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属し、Tyr タンパク質キナーゼファミリー、SRC サブファミリーに属する。 ,類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。 ,類似性: 1つの SH2 ドメインを含む。 ,類似性: 1つの SH3 ドメインを含む。 ,サブユニット: HIV-1 Nef および Vif と (SH3 ドメインを介して) 相互作用する可能性がある。この相互作用は、チロシンキナーゼ活性を刺激すると考えられる。 HEV ORF3 タンパク質と (SH3 ドメインを介して) 相互作用する。 ,組織特異性:主に骨髄系および B リンパ系細胞で発現する。 ,

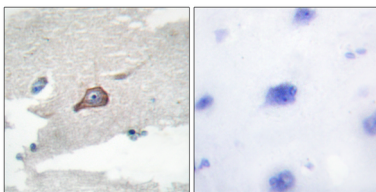
研究分野

ケモカイン;Fc ガンマ R を介した貪食作用;

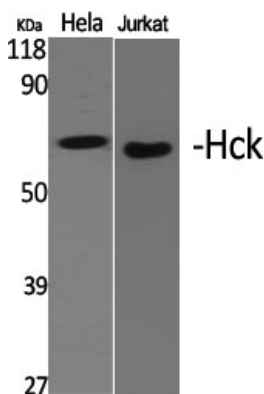
画像データ



HCK 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HCK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Hck ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析